

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○ 学校、家庭、地域がしっかりと手を結び、児童が安全、安心に過ごせる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習を通して、児童が学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、自己の思いを豊かに表現できる子を育てます。 ・道徳の学習や、伝統的行事に取り組み、豊かな心を育みます。 ・体育的行事に取り組みながら健康的な身体を作ります。 ・学校・家庭・地域との「つながり」を大切にして、地域の中に生きる心豊かな子を育てます。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		道徳教育や人権教育を重視し、他者との関わりを大切にし、自ら進んであいさつのできる児童を育てる。地域の一員として積極的に行動できる児童を育てる。	①児童一人ひとりが安心して豊かに過ごせるための人権教育を推進する。②道徳の時間の事業公開を行い、教師の授業力を高め、道徳教育の推進に努める。③各教科・横浜の時間で、地域とのつながりを大切にした学習をすることにより、地域を愛する心を育てる。④日々の生活の中で、進んであいさつをする姿を大切にし、あいさつの輪が広がるようにする。
担当	児童支援・人権教育部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

素直で明るい児童が多い。学力・学習状況調査の結果からも、学習に対しても、学校生活に対しても前向きに行動できる児童が多いことがわかる。地域の人々にも気持ちのよいあいさつをすることができる一方で、友達とのコミュニケーションを図ろうとするには消極的になりがちである。一人ひとりが自分のよさを知り、自己肯定感を高めるとともに自分の考えを落ち着いて説明しようとする姿が求められる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

- 道徳教育の要となる「道徳の時間」の指導を通して、子どもたちが道徳的な見方や考え方、感じ方を多様に広げ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身につけられるようにする。
- ・学校全体の道徳教育と各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。【視点1】
 - ・重点研究で道徳を取り上げ、全市に向けて授業を公開し、教師の授業力を向上させる。
 - ・全学級が一年に1回以上の授業公開を行い、授業の評価を行う。

指針4 豊かな感性や情操の育成

- 地域の優れた文化や芸術等に触れる活動、及び児童による文化的な活動を通して、豊かな感性や情操を育む。
- ・横浜の時間の取組として地域の方の指導を受け、地域に伝わる伝統文化を体験し、発表の場を設ける。【視点10】